



四月 (小) 卯月 奎宿

四月四日清明の節より
月命庚辰六白金星の月
暗剣殺西北方

旧三月大
四月大

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	廿宿	下段	日出	入出	満潮	干潮
1日	水	きのえ いぬ	五黄	○上弦一九時二分、新学年、 新会前年度フール親鸞聖人誕生会、 Eープリルフール 不成就日 旧三月大	九	大安	あやぶ	参	月とく	5.28	18.03	10.22	0.22
2日	木	きのと る	六白	日光輪王寺強飯式	十	赤口	なる	井	母倉	11.19	1.18	8.10	—
3日	金	ひのえ ね	七赤	隠元禪師忌	十一	先勝	おさん	鬼	母倉	12.22	2.12	0.05	8.57
4日	土	ひのと うし	八白	清明一六時三十分、奈良竜田大社祭、 岐阜伊奈波祭、神道修成派大祭	十二	友引	おさん	柳	十し	13.30	2.57	11.59	8.02
5日	日	つちのえとら	九紫	香取神宮御田植祭、天しや、小つち	十三	先負	ひらく	星	よろづ	14.41	3.40	3.07	2.26
6日	月	つちのとう	一白	春の全国交通安全運動(15日迄)、 一粒万倍日	十四	佛滅	とづ	張	神よし	15.54	4.19	15.53	15.04
7日	火	かえたと	二黒	世界保健デー、法然上人誕生会	十五	大安	たつ	翼	くま日	17.07	4.56	16.38	16.38
8日	水	かのと	三碧	花まつり、○望Ⅰ一時三十分、灌仏会	十六	赤口	のぞく	軫	天おん	18.20	5.31	17.23	17.23
9日	木	みづのえとら	四緑	笠間稲荷春季例大祭、三隣亡、 長浜曳山祭(17日迄)、不成就日	十七	先勝	みつ	角	百事よし	19.34	6.07	18.08	18.08
10日	金	きのえとら	五黄	京都平野神社桜祭	十八	友引	たいら	亢	天おん	20.46	6.44	18.54	18.54
11日	土	きのえとら	六白	メートル法公布記念日、十方くれ入り	十九	先負	さだん	氏	大まう	21.57	7.25	19.43	19.43
12日	日	きのと	七赤	復活祭、大津日吉大社山王祭(15日迄)、 世界宇宙飛行の日、京都松尾大社中西大祭、 京都今宮神社やらい祭	廿	佛滅	とる	房	神よし	23.03	8.10	20.37	20.37
13日	月	ひのえ いぬ	八白	科学技術週間、京都嵯峨虚空蔵十三詣り	廿一	大安	やぶる	心	五む日	7.38	7.10	21.44	21.44
14日	火	ひのと	九紫		廿二	赤口	あやぶ	尾	●	9.00	7.25	23.26	23.26
15日	水	つちのえ ね	一白	○下弦七時五十分、高山山王祭、 一粒万倍日	廿三	先勝	なる	箕	母倉	10.41	8.14	22.59	22.59
16日	木	つちのとう	二黒	土用二二時〇六分	廿四	友引	おさん	斗	十し	11.50	9.28	23.38	23.38
17日	金	かえと	三碧	不成就日	廿五	先負	ひらく	牛	ちいみ	12.49	11.50	—	—
18日	土	かのと	四緑	発明の日、天理教教祖誕生祭、 一粒万倍日	廿六	佛滅	とづ	女	神よし	1.44	1.44	1.34	8.14
19日	日	みづのえとら	五黄	穀雨二二時四十分、京都伏見稲荷神幸祭	廿七	大安	たつ	虚	大まう	2.23	2.23	2.32	2.32
20日	月	みづのと	六白	郵政記念日、郵便週間、天一天上	廿八	赤口	のぞく	危	母倉	3.28	3.28	3.05	3.05
21日	火	きのえとら	七赤	三隣亡	廿九	先勝	みつ	室	神よし	4.43	4.43	4.26	4.26
22日	水	きのと	八白	多賀大社古例大祭、靖国神社春祭	卅	友引	たいら	壁	大まう	5.04	5.04	5.32	5.32
23日	木	ひのえとら	九紫	●朔一十二時二六分 旧四月大	卅一	佛滅	さだん	奎	くま日	6.06	6.06	6.31	6.31
24日	金	ひのと	一白		二	大安	とる	婁	神よし	7.25	7.25	7.50	7.50
25日	土	つちのえいぬ	二黒	奈良興福寺文殊会	三	赤口	やぶる	胃	ぶく日	8.14	8.14	8.39	8.39
26日	日	つちのと	三碧	京都松尾大社神幸祭、不成就日	四	先勝	あやぶ	昂	●	9.28	9.28	10.03	10.03
27日	月	かえと	四緑	和歌山道成寺会式、一粒万倍日	五	友引	なる	畢	母倉	10.41	10.41	11.16	11.16
28日	火	かのと	五黄	日蓮宗開宗会、奥州日高火防祭(29日迄)	六	先負	おさん	觜	十し	11.50	11.50	12.25	12.25
29日	水	みづのえとら	六白	○昭和の日、米沢上杉まつり、 京都壬生狂言、御嶽山大教火渡祭	七	佛滅	ひらく	参	大まう	12.62	12.62	1.00	1.00
30日	木	みづのと	七赤	旧灌仏会、佐賀有田陶器市(29日、5月5日)、 一粒万倍日	八	大安	とづ	井	●	1.34	1.34	2.09	2.09

※毎月大潮は朔、望の二日後に起こり、小潮は上弦、下弦の二日後に起こる。

役所、会社の年度始め、新学年、新入社等、新しい何か動き始める躍動の月である。

気温は日一日と上がり、陽光も明るさと強さを増してくる。上旬には南のほうから桜前線が順調なペースで北上してこよう。

【冠】幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学まで、青少年たちにとって新学年は一つの関門、そして一年間のスタートラインである。

また、大きな転機として就職がある。社会人としての自覚と責任をたずさえて、荒海へと旅立つのだ。昔であればさしずめ初陣というところであろう。

【婚】陽気がよく、シーズンとしてはまさに最適といえよう。結婚式を挙げる人も多いが、披露宴などに招かれる人も多いに違いはない。そんなとき、スピーチをする人は当然のこと、短

い挨拶にも注意をしなければいけない。ことに縁起の悪い言葉を使わないことである。例えば、戻る、再び、去る、重ね、返る(帰る)、離れる、薄い、等、たかが言葉尻ではないか、と思うかもしれないが、めでたい人生の門出にトラブルがないほうが望ましい。

【祭】四月八日は、仏教の祖、釈迦牟尼(しゃかに)が生まれた日である。釈迦はインドのヒマラヤ南麓の迦毘羅(かびら)城の王子として生まれ、幼名は悉達多(しつたると)といい、三十五歳で仏道の悟りを開いて後、八十歳で入滅するまで、四十五年間布教に専念されたという。

その釈迦誕生日、一般には「花まつり」といっているが、正式には灌仏会(かんぶつえ)、仏生会などと呼ばれ、花で飾った小さなお堂を作り、誕生仏の像をまん中に安置し、その頭上から竹柄杓で甘茶を三回そそいで拝むならわしがある。

二十九日は「昭和の日」、激動、多難の時代を歩まれ、太平のもとを切り拓かれた昭和天皇の誕生日である。
平成十九年施行